

2022年度 第2回
オンラインライブ
配信

授業とチームを変える 「問いのデザイン」の技法

2022年

6/ 火 TUE
14

16:00~18:00

配信ツール

Zoom

※受講者の皆様には
セミナーの詳細を
メールでお送りします。

対象

私学の
教職員の方

費用

11,000(税込)円/人
私学マネジメント協会
会員校は無料

講師



安斎 勇樹氏

あんざい ゆうき

株式会社MIMIGURI
代表取締役Co-CEO /
東京大学大学院 情報学環
特任助教授

2022年6月開催の私学マネジメント定例セミナーでは、株式会社MIMIGURI代表取締役Co-CEO・東京大学大学院 情報学環 特任助教で、『問いかけの作法：チームの魅力と才能を引き出す技術』の著者でいらっしゃる安斎勇樹氏にご登壇いただきます。

2022年度より、高校では総合的な学習の時間が、総合的な探究の時間へと代わり、本格的に探究学習がスタートしますが、探究学習について、頭を悩ませている先生方も多いのではないのでしょうか。

そこで、今回のセミナーでは、生徒の探究を深めるための「問い」、グループワークを活性化する問いかけ、チームを変える問いかけの作法について学び、授業を深め、活性化し、チームの力を引き出す「問い」について考えていきます。皆様、ぜひご参加ください。



『問いかけの作法：
チームの魅力と才能を
引き出す技術』

講演概要

1 生徒の探究を 深める問い

- ・ 良い問いと悪い問いの違い
- ・ 生徒の探究を深める問いとは何か
- ・ 問いの立て方の支援方法

2 グループワークを 活性化する問いかけ

- ・ 生徒の個性を引き出す
問いかけとは
- ・ グループワークを活性化する
ファシリテーションの本質

3 チームを変える 問いかけの作法

- ・ 意見のでないお通夜
ミーティングを打破する方法
- ・ 周囲のポテンシャルを引き出し、
チームで成果を出す

Message

何が正解かがわからない時代に突入し、素早く「答え」を出すことよりも、良い「問い」を立て、考え続けることが教師にも生徒にも求められるようになりました。また良い「問い」は立てたら終わりではなく、それに考え続ける思考過程、グループでの議論過程において、常に「問いかけ」をしながら伴走することも必要です。このセミナーでは、授業を深め、活性化し、チームの力を引き出すための「問い」の真髄について、考える機会にできればと思います。

Profile

1985年生まれ。東京都出身。東京大学工学部卒業、東京大学大学院学際情報学府博士課程修了。博士(学際情報学)。ウェブメディア「CULTIBASE」編集長。企業経営と研究活動を往復しながら、人と組織の創造性を高めるファシリテーションの方法論について探究している。主な著書に『問いのデザイン：創造的対話のファシリテーション』、『問いかけの作法：チームの魅力と才能を引き出す技術』、『リサーチ・ドリブン・イノベーション』、『ワークショップデザイン論』などがある。

お申込みについて



左のQRコードまたは下記のURLから私学マネジメント協会のホームページにアクセスし、「セミナー申込み」へ進んでください。

申込フォームに必要事項をご入力の上、送信してください。

受付完了後、ご入力いただいたメールアドレスに「受付完了メール」が自動送信されます。

数時間たっても受信しない場合は、お手数ですが、再度お申込みください。

私学マネジメント協会

<https://school-management.jp/>

ご請求について

開催終了後に受講料の請求書をお送りします。（会員校は無料）

期日までにキャンセルのご連絡がない場合は、受講料を請求させていただきます。

（詳細は受付完了メールをご参照ください）

感染症対策について



会場開催時における当協会の感染症対策につきましては、当協会ホームページに掲載しておりますので、ご確認ください。

講演会・各種講座・研修開催時における感染症拡大防止策について
https://school-management.jp/service/lecture/guideline_event.php